



小平西高校は、1対1を使ったプレーよりも、チームプレーを軸にしている様子が見受けられました。スリーポイントが沢山入る選手が居たり、オフェンスリバウンドにも飛び込んでセカンドチャンスをしっかり決め切るなど、とても手強い相手でした。

本校は、試合に向けて沢山の練習を積んできたディフェンスや、セットプレーなどを使って、最後まで戦い抜くことができました。ディフェンスではコミュニケーションを大切にし、見える人が声をかけてカバーし合いながら励みました。また、ハードワークをすることができ、ルーズボールにも飛び込むことが出来ました。ベンチや観客席もいつも以上に応援の声が大きく、選手たちの活力にもなったと思います。リバウンドも沢山取り、身長の高い相手にも互角に戦うことができました。

反省点はスリーポイントを沢山打ってくる相手に対してシュートチェックが遅れてしまい、スリーポイントを許してしまう場面が多くあったということです。

試合が始まってから試合が終わるまで接戦で、1秒も油断出来ない状況が続き、とても緊張感のある試合となりました。最終的には僅差で勝つことが出来たので良かったです。このままの熱量で新人戦も勝ち進んで行ければ良いと思います。